

2025 年 11 月 2 日（聖霊降臨後第 21 主日・特定 26、C 年）

メッセージ

「ザアカイ、急いで降りて来なさい」

（ルカによる福音書19:1-10）

司祭ヨセフ太田信三

先週の福音でも徴税人が登場しましたが、今日の福音では、徴税人の頭が登場します。イエスに声をかけられることになったザアカイです。金持ちであったとあります。金持ちは、特にルカ福音書においては、財産への執着ゆえに神の救いから遠い存在として描かれます。徴税人で金持ち、つまりザアカイは救いからほど遠いとされた存在です。しかし、このザアカイも救いへと招かれます。

イエスの旅はエリコに入ります。これまでの旅で数々の奇跡を行ってきたイエスの評判は知れ渡っていたようで、大勢の群衆がイエスを見ようと集まってきます。ザアカイもイエスを見ようとやってきますが、人混みに遮られて、イエスが見えません。彼は走って先回りし、ついには道端のいちじく桑の木に登ります。当時の成人男性の行動として、走ることも、まして木に登ることも、恥ずかしいことだとされていました。しかし彼は、そんなこと気にしていられないほど、イエスを見たいと望んだのです。もちろん、徴税人という仕事についている時点で、人の評価や目など気にしない人であったのかもしれませんが。ただ事実として、ザアカイはお金には不自由しなくとも、人々から罪人とされていました。そして彼自身、自分は神から離れて生きている、という葛藤のなかで、まことの生き方、まことの救いを求めていたのでしょう。この行動に、その思い溢れています。そのザアカイにイエスは呼びかけます。

「ザアカイ、急いで降りて来なさい。今日は、ぜひあなたの家に泊まりたい。」ザアカイは跳び上がるほど驚いたでしょう。イエスは、ザアカイが名乗る前からザアカイの名を知り、その名を呼ばれました。この箇所は以下のように直訳できます。

「ザアカイよ、急いで降りてきなさい。なぜなら今日、あなたの家にわたしが留まることになっている。」

「今日」イエスがザアカイの家に留まることは定められていたこと、ということです。今日という日は、他でもない神のよって定められた日であり、ザアカイは今日、出会うべくしてイエスと出会ったのです。

「人の子は、失われたものを捜して救うために来た」とイエスは言います。そのイエスは、私たちが求めるならば、私たち一人ひとりの名を呼び、迎えてくださいます。ザアカイにとっていちじくの桑の木がその場所であったように、神は私たち一人ひとりにその時、その場所を用意してくださっています。ザアカイに訪れた驚きと喜びが、私たちにも実現するのです。嬉しいことです。